

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える（もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など）
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・情報^{じょうほう}を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起^そする
- ・想起^{ちしき}した知識^{ちしき}を正しく^{うんよう}運用する

○理由^{りゆう}

- ・筆者^{ひっしや}の意見^{いけん}や判断^{はんだん}の根拠^{こんきよ}を示^{しめ}す
- ・ある出来事^{できごと}の原因^{げんいん}、結果^{けっか}となることを示^{しめ}す
- ・現象^{げんしょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・問いを別^{べつ}の形で言い表^{あらわ}す
- ・問題^{じょうきよう}の状況を図表などに表^{あらわ}す
- ・未知^{みち}のものを自分が知っている形で表^{あらわ}す
- ・具体的な数^ひと比^ひを自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・多角的な視点^{してん}で複数^{くわ}のことがらを比べる
- ・複数^{くわ}のことがらの共通点^{きょうつうてん}を見つけ出す
- ・複数^{くわ}のことがらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類^{ぶんるい}

- ・個々の要素^こによって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点^{きょうつうてん}、相違点^{さうゐてん}に着目^{ちやくもく}して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゅうしやう}

- ・文章^{ぶんしやう}から筆者^あの挙げる例^{れい}、特定の状況^{しんじやう}や心情^{しんじやう}を取り出す
- ・ある特徴^{とくちやう}を持つものを示^{しめ}す
- ・個々の事例^どから具体的な要素^{のぞ}を除いて形式化^{しんじやう}する
- ・個々の事例^どから共通する要素^{のぞ}を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・情報^{むす}どうしを結び付ける
- ・要素^{とら}間の意味^{おぎな}を捉え、情報^{おぎな}を補う
- ・部分^{ぶふん}と全体^{ぜんたい}のそれぞれが互^{たが}いに与えあう影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ある目的^{しゆだん}のための手段^{しゆだん}となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・情報^{ろん}をもとに、論理的^{りてき}な帰結^{きけつ}を導き出す
- ・情報^{みらい}をもとに、未来^か・過去^このことを予測^{よそく}する
- ・情報^{みらい}を活用^かして、さらに別の情報^{よそく}を引き出す

小学3年 基礎力テスト (国・算) —— 解答と解説

算数 (国語と算数あわせて40分)

1

(1)	479	(2)	177	(3)	123					
21		22		23						
(4)	63	(5)	4	(6)	ア	3	(m)	イ	3	(cm)
24		25		(完答)26						

2

(1)	24	台	(2)	55	dL	(3)	72	こ
27			28			29		

(4)	①	30	分間	②	1	時間	5	分
30				(完答)31				

(5)	①	6	②	7	こ
32		33			

3

(1)	(あめ 、 クッキー)	(チョコ 、 ゼリー)	(完答)34
(2)	(だんご 、 ゼリー)	(あめ 、 せんべい)	
	(あめ 、 クッキー)		

4

(1)	①	1	こ	②	3	こ	(2)	10	こ	(3)	5	こ
		36		37		38		39				

国語

（国語と算数あわせて四十分）

問九		問六	問五	問二	問一
C	A		A		あ
け	び	イ	葉	ウ	青
つ	よ		の		
し	う	問七	あ	問三	い
ん	き	山	い	タ	通
	B	ね	だ	ク	
	お	こ	B	シ	う
	く		林	ー	道
	る			問四	え
	べ	問八		エ	毛
	き	エ			お
	だ				医者

(配点)

算数

① 各 2 点 × 6 = 12 点

② (1)(2)(3)各 2 点 × 3 = 6 点 (4)(5)各 3 点 × 4 = 12 点

③ 各 4 点 × 2 = 8 点

④ (1)各 2 点 × 2 = 4 点 (2)(3)各 4 点 × 2 = 8 点

国語

問一、問五、問九……各 2 点 × 10 = 20 点

問二～問四、問六～問八……各 5 点 × 6 = 30 点

計 100 点

【解 説】

② いろいろな文章題

- (1) **A1** 再現する

$$21 - 8 + 11 = 24 \text{ (台)}$$

- (2) **A1** 知識 再現する

$$\begin{aligned} & \text{リットル} \quad \text{デシリットル} \\ & 1 \text{ L} = 10 \text{ dL} \text{ なので, } 3 \text{ L} = 30 \text{ dL, } 2 \text{ L} = 20 \text{ dL} \\ & \text{入れた水の量} = 30 + 20 + 5 = 55 \text{ (dL)} \end{aligned}$$

- (3) **A1** 再現する

$$\begin{aligned} & 1 \text{ つのはこにならばれたりんごは, } 3 \times 3 = 9 \text{ (こ)} \\ & 8 \text{ はこでは, } 9 \times 8 = 72 \text{ (こ)} \end{aligned}$$

- (4) ① **A1** 情報を獲得する 再現する

$$(10 \text{ 時 } 45 \text{ 分}) - (10 \text{ 時 } 15 \text{ 分}) = 30 \text{ (分)}$$

- ② **A1** 情報を獲得する 再現する

$$(11 \text{ 時 } 5 \text{ 分}) - (10 \text{ 時}) = 1 \text{ (時間)} 5 \text{ (分)}$$

- (5) ① **A1** 情報を獲得する 置き換え

$$\text{表とグラフから } \bigcirc 1 \text{ こは } 1 \text{ さつなので } 3 \text{ 月のグラフの } \bigcirc 6 \text{ こより, } \text{ア} = 6$$

- ② **A2** 情報を獲得する 再現する 置き換え

$$\begin{aligned} & 1 \sim 4 \text{ 月までに読んだ本} = 5 + 4 + 6 + 3 = 18 \text{ (さつ)} \\ & 5 \text{ 月に読んだ本} = 25 - 18 = 7 \text{ (さつ)} \Rightarrow \bigcirc = 7 \text{ (こ)} \end{aligned}$$

③ ^{くらい}位と^{はすう}端数の問題

- (1) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

「1 円玉と 5 円玉のおつりがない」 = 「お菓しのねだんの合計の 1 の位が 0」なので、
ねだんの 1 の位が、「 $2 + 8 = 10$ 、 $3 + 7 = 10$ 」になることを使って、合計が
100 円をこえない組み合わせをさがします。
(あめの 32 円 + クッキーの 58 円) = 90 円
(チョコの 47 円 + ゼリーの 33 円) = 80 円
答えは、(あめ、クッキー)、(チョコ、ゼリー) の 2 とおりです。

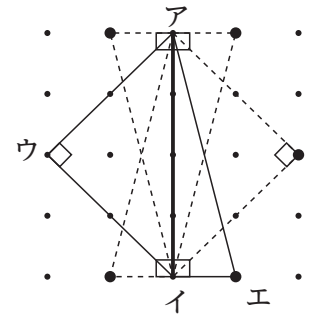
(2) **A2** 特徴的な部分に注目する 調べる

おつりが1円玉1まい⇒合計金額99円：(だんごの66円) + (ゼリーの33円)
 おつりが5円玉1まい⇒合計金額95円：(あめの32円) + (せんべいの63円)
 おつりが10円玉1まい⇒合計金額90円：(あめの32円) + (クッキーの58円)
 答えは、(だんご、ゼリー)、(あめ、せんべい)、(あめ、クッキー)

4 直角三角形

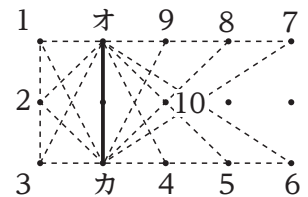
(1) **A2** 特徴的な部分に注目する 調べる

- ① 右の図のように、辺アイの反対側の点をつかって1こできます。
- ② 右の図のように、辺アイの反対側の点、上の2点をつかって3こできます。



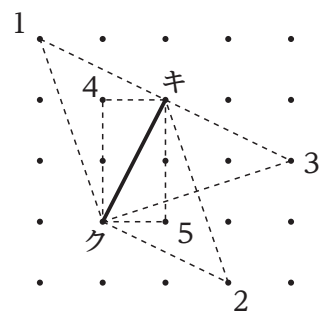
(2) **B1** 特徴的な部分に注目する 調べる

右の図で、オ、カと1から10までの点を線でむすんで直角三角形ができるので、10こ



(3) **B1** 特徴的な部分に注目する 調べる

右の図で、キ、クと1から5までの点を線でむすんで直角三角形ができるので、5こ



【解説】

あまんきみこ『車のいろは空のいろ 白いぼうし』（ポプラ社）から出題しました。場面をしっかりと想像しながら読む習慣をつけましょう。

問一 A2 知識

二年生までの漢字を問う問題です。

問二 A2 知識 推論

季節を問う問題です。その季節ならではの、自然の風景や行事などに普段から親しんでおきましょう。①の直後の文に「アオあおとしていた並木の葉も、いつのまにか、きいろにいろづいています」とあります。ほかに、「金いろの稲のほ」「木の葉が、赤や、きいろやしゅいろにそまったにじのような林」というような表現から、秋だとわかります。

問三 B1 推論

松井さんの運転している空いろの車は何かを考えましょう。——線②の直後の松井さんと男の人の会話、松井さんの行動を読みましょう。そこには『どちらまで？』『いうとおりについてください。』メーターをかちつとたてて、空いろの車は走りだしました」とあります。客に行き先を聞いて、メーターをたてて走るの、タクシードとわかります。細かいようですが、「シ」を「ツ」とならないように点の向きや、三画目の書き順などに気をつけて書きましょう。

問四 B1 関係づけ

——線③「両がわには、見たたすかぎり、金いろの稲のほが、波のようにゆれています。」とありますが、何の「両がわ」か示されています。——線③の直前に「ほそい一ぼん道にできました」とあることから、「一ぼん道」の「両がわ」に「見たたすかぎり」田んぼが広がっていることがわかります。かつ、そこではたわに実った稲が風でゆれていることがわかります。これにあう選択肢はエです。ア「ほそい道のおくには：田んぼが」「かりとられた稲：干されている」「イ「おおきな道」「ちよっとした田んぼ」「ウ「道の向こうに、畑があり」とありますが、この道を進んだところにあるのは紅葉した木々の

林です。

問五 B1 関係づけ

「ぶち」とは、動物などの毛並みについていうことが多いのですが、地の色とちがう色がまじっていることをいいます。——線④の直前に「葉のあいだからさしてきたひかりが線になってゆれ」とあることから、林によってできたかげにさしこむひかりによって、車に「ぶち」のもようができていたことがわかります。

問六 B1 推論

——線⑤の直前に「きたことのないところだな」とあるので、松井さんがきんちようしていることがわかります。また直後に「『ここは、奥かえで谷あたりですか？』と、おもわずたずねました」ともあり、おちつかず、場所を確認したくてたまらなくなっていることがわかります。「口がかわく」「口の中がねばねばする」などの表現は、おちつかないときやきんちようしているときに、よく使われる表現です。ア「見たことのないうつくしい場所」とは書かれていません。ウ・エ「さしずしてくる」「めいれいしてくる」とありますが、客がさしずやめいれいしてきたのは、もっと前の場面です。

問七 B1 関係づけ

⑥の直前にあるように、⑥は「こげ茶のしまの毛がはえて」いて、「金いろの目、しめった黒いはな、はりかねのように、ぴんとよこにはったひげ」の持ち主だとわかります。さらに読みすすめていくと、松井さんが「あんたは、山ねこでしょう」と言っています。ですから、答えは「山ねこ」です。

問八 B1 理由 推論

——線⑦の直後に「声までふるえそうなのを、やっとこらえていたのです」とあることから、「ふりむかないで」というより、「こわくてふりむけなかった」のだとわかります。

問九

B1

理由

推論

——線⑧の直後に、「それでもけっしんがかわらなかったの」とあります。「じぶんのあたまを、三どたたいて」みても、山ねこを目的^{もくぎ}地^{まち}まで「おくべきだ」という「けっしんがかわらなかった」、ということ。冷静^{れいせい}な判断^{だんぱん}ができているかどうか確^{たし}かめるために、あたまをたたいてみたのでしよう。山ねこを「おくべきだ」と決めたのは、——線⑧の直前^{ちくぜん}にある山ねこのセリフ「おねがいしますよ…母がびょうきになった」と聞いたからです。